

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	就職対策	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	月曜・1限(不定期)
担当教員	清水 万祐子・立石 佳代・中村 千紘				
授業概要	この講義では、就職活動の方法について説明します。乗年の就活に向けて、自身の特徴を振り返るとともに、将来どのような作業療法士になり、どんな分野で働きたいかを考えていきましょう。清水先生は就職概要について、立石先生はキャリア支援についての講義を担当します。				
学習目標	① 就職活動の流れ、OT免許を取得し、就職してからのキャリアアップ方法を知り、説明できる。 ② 自身の性格特徴を知り、面接にて自身をアピールできる。 ③ 小論文の書き方について学び、テーマに沿った論文を書くことが出来る。 ④ 履歴書の作成をすることができる。				
回数				担当教員	
1回目	自己分析、他己分析(エゴグラム、グループワーク)			清水 万祐子	
2回目	就職活動の進め方、時期ごとの予定とOTになってからのキャリアについて			中村千紘	
3回目	自己PR、志望動機等(PREP法、作文)			清水 万祐子	
4回目	OTの就職分野と各領域でのOTの働き方について			中村千紘	
5回目	求人票の見方、労働条件の優先順位			清水 万祐子	
6回目	試験対策・小論文の書き方について			中村千紘	
7回目	小論文作成(課題①)			中村千紘	
8回目	面接での注意点、実施方法			中村千紘	
9回目	面接応答内容について 自身の性格特徴を知ろう			中村千紘	
10回目	模擬面接(実技試験)			中村千紘	
11回目	模擬面接(実技試験)			中村千紘	
12回目	キャリアプランと職業選択(理論と演習)			立石 佳代	
13回目	履歴書作成について			中村千紘	
14回目	キャリア形成とストレスマネジメントの実践的な方法			立石 佳代	
15回目	履歴書作成と提出(課題②)			中村千紘	
教科書及び参考書	プリント等の資料を配布します。				
成績評価	課題50%(①小論文30%、②履歴書20%)、模擬面接50%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>作業療法士の国家試験まであと1年となった皆さんは、作業療法士としてどのように働きたいか、自分はどのような作業療法士を目指していきたいかを考えていく必要があります。分野別の講義を受けてどのような分野で働きたいか、自身の向いている分野についても悩むことがあると思います。自身に関しては担当教員に相談しつつ、未来を現実に行き届くように動いていきましょう。</p> <p>就職試験には面接、小論文等が実施されることが多いです。こちらにも苦手意識なく取り組めるようにこの講義で得意にできるようにしましょう。課題の提出には締切期限を厳守すること。提出期限が守れない場合は減点とします。ただし、提出前の課題添削は可能ですので、自身の課題に不安のある学生はアポイントを取った上で確認し、提出日に提出してください。アポイントをとるのも期限(約束)を守るのも社会人としてのルールとなります。それらも一緒に学んでいければと思います。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>精神科病院勤務後、メンタルクリニックのデイケア新規立ち上げ、デイケア管理者の経験から就職活動において必要である面接や小論文等の就職試験対応を実施する。また、精神科のほか、整形外科や老人保健施設への勤務経験から、学生が幅広い分野を就職の視野とできるように指導を行う。</p>					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間関係学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	月曜・3限
担当教員	中村 千紘				
授業概要	身体疾患、精神疾患を問わず、治療を行うにあたって患者と治療者が信頼関係を結ぶことは重要である。治療者－患者関係は相互関係であるので、患者が治療者に抱く情緒だけでなく、治療者が患者にどのような情緒や態度を示すかということも治療者との関係に影響する。セラピストとしてどのように患者との関係を築いていけばよいか。この講義はそのプロセスについて治療的対応を実践しながら学ぶ。また、学んだことをレポートに表現できるようにするものこの講義にて実施する。				
学習目標	① セラピストとしての適切な態度を学び実践できるようになる。 ② レクリエーションの構成要素を理解し、計画書の作成ができる。 ③ レクリエーション計画に沿ったプログラム実施を模擬的に行うことができる。 ④ 構成的・投影的作業を用いた観察と分析をレポートに記載できるようになる。				
回数				担当教員	
1回目	オリテン 作業療法の治療・支援構造(P.86-92)			中村 千紘	
2回目	作業療法士の専門性と場の活用(P.117-121)			中村 千紘	
3回目	集団力動、集団と場(P.122-129)			中村 千紘	
4回目	レクリエーション療法と計画書について			中村 千紘	
5回目	レクリエーション計画書作成①(課題①)			中村 千紘	
6回目	レクリエーション実技(実技試験)			中村 千紘	
7回目	レクリエーション実技(実技試験)			中村 千紘	
8回目	初回面接と情報収集面接の実施(実技)			中村 千紘	
9回目	チェックリストを用いた面接実技			中村 千紘	
10回目	構成的作業と投影的作業における実施方法と注意点の確認			中村 千紘	
11回目	構成的作業を用いた作業面接(箱作り法)①(実技)			中村 千紘	
12回目	構成的作業を用いた作業面接(箱作り法)②(実技)			中村 千紘	
13回目	箱作り法レポートまとめ(課題②)			中村 千紘	
14回目	投影的作業面接(アジマバッテリー)①(実技)			中村 千紘	
15回目	投影的作業面接(アジマバッテリー)②(実技)			中村 千紘	
教科書及び参考書	精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践(新版) 山根寛/三輪書店 随時、プリント等を配布する。				
成績評価	実技試験50%、レポート課題50%(各25%)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
実習の際に実施する精神科評価を用いて人間関係について理解を深める方法を学びます。作業療法士として、自身を治療的に用いる方法を体験し、模擬的ではありませんが、レクリエーション・プログラムの企画と実施により、臨床実習に備えます。また、精神科授業で学んだ精神評価やチェックリストを実際に用いた評価を実施し、理解を深めます。実技試験とレポート課題において成績評価を実施しますが、レポート課題は提出期限を厳守すること。レポート課題については事前提出、添削を実施しますので、疑問等がある学生は早めに相談するようにしてください。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
精神科病院、メンタルクリニック、老人保健施設において作業療法士として勤務。身体や精神に疾患を持った患者様や認知症を患われた方と治療関係を結ぶためには信頼関係が欠かせない。どのように関係構築をしていくのかについて講義と学生同士での作業を通じた観察という実技、その内容をレポートにまとめることで、評価から考察内容を表記していく過程を学ぶ。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	義肢装具学	授業形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	月曜・4限(変則)
担当教員	中村 千紘				
授業概要	義手や装具を用いる疾患についての基礎知識と断端管理などの治療的対応を学ぶとともに、どのような装具が適応になるかについての講義を実施します。また、神経損傷やリウマチの際に適応となる装具やスプリントについても学びます。土曜日は義肢装具士の先生によるスプリント作成を実際に行います。				
学習目標	① 義肢装具の適応となる疾患について説明することができる。 ② 疾患とそれに適応する装具・スプリントを説明することができる。 ③ 装具・スプリントの役割、目的について説明することができる。				
回数				担当教員	
1回目	オリエンテーション 切断の概要と基礎評価について(①P.310-314)			中村 千紘	
2回目	義肢の分類と作業療法の治療目標と対応について(①P.314-321)			中村 千紘	
3回目	切断に対する作業療法プログラム(①P.321-326)			中村 千紘	
4回目	義手のチェックアウト(前腕義手)(②95-96) 確認テスト①(範囲:切断について)			中村 千紘	
5回目	短対立スプリント作成(実技)			中村 千紘	
6回目	短対立スプリント作成(実技)			中村 千紘	
7回目	義手のチェックアウト(上腕義手)(②97-99)			中村 千紘	
8回目	熱傷について(①P.298-301)			中村 千紘	
9回目	短対立スプリント作成(実技)			中村 千紘	
10回目	短対立スプリント作成(実技)			中村 千紘	
11回目	熱傷と熱傷の拘縮に対する作業療法プログラム(①P.298-309) 確認テスト②(範囲:義手のチェックアウト)			中村 千紘	
12回目	コックアップ・スプリント作成(実技)			中村 千紘	
13回目	コックアップ・スプリント作成(実技)			中村 千紘	
14回目	コックアップ・スプリント作成(実技)			中村 千紘	
15回目	コックアップ・スプリント作成(実技)			中村 千紘	
教科書及び参考書	①標準作業療法学 身体機能作業療法学【第3版】/医学書院 ②技師装具学(第4版) /医学書院 その他、随時、病気がみえる等を指示します。また、プリントを配布します。				
成績評価	確認テスト50%(各25%)、期末試験50% 欠席は3点、遅刻は1点減点とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
義肢や装具を持ちいる疾患についての講義を実施します。作業療法士としてどのような評価や目標をもって治療を実施するかについての講義と実技を実施します。実技では実際にスプリントを作成します。 作業療法の国家試験では、スプリントの型や適応についての問題も多く出題されます。実際に作成することで理解や記憶に残るように、エピソード記憶を活用しましょう。スプリント作成は土曜日に2コマ連続で実施を予定しております。確認をして受講するようにしてください。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
整形外科、老人保健施設において、装具やスプリントの対応となる切断やリウマチ、脊髄損傷の患者様を担当していた経験を活かして講義を実施する。また、スプリントの作成には、現在も装具の作成にあたっている、義肢装具士が担当する。					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅲ)(実習)	授業形態	講義・演習 <b>実習</b>	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	火曜・1・2限(変則)
担当教員	中村 千紘				
授業概要	作業療法士が治療にあたる身体障害領域における疾患の中でも免疫疾患、上肢の末梢神経損傷、神経筋疾患について学びます。各疾患の病態と作業療法評価、治療プログラムについて講義を展開します。				
学習目標	① 各疾患の病態について説明できる。 ② 各疾患に対する作業療法評価を列挙できる。 ③ 各疾患の作業療法目標の設定と作業療法プログラムを説明できる。				
回数					担当教員
1回目	SLE、PM、DMの概要と作業療法評価について(P.255-257)				中村 千紘
2回目	SLE、PM、DMの作業療法治療プログラムについて(P.257-258)				中村 千紘
3回目	上肢の末梢神経損傷の概論(P.261-265)				中村 千紘
4回目	各末梢神経の損傷部位と特徴(P.265-267)				中村 千紘
5回目	末梢神経損傷の医学的治療と作業療法評価(P.268-270)				中村 千紘
6回目	末梢神経の作業療法目標とプログラム(P.270-275)				中村 千紘
7回目	末梢神経損傷とスプリントと作業療法(P.275-278)				中村 千紘
8回目	腰痛症の概要と種類(P.327-328) 確認小テスト①(範囲:免疫疾患、末梢神経損傷)				中村 千紘
9回目	急性・慢性腰痛症の生活指導と作業療法(P.329-331)				中村 千紘
10回目	多発性硬化症の病態特徴と作業療法評価(P.336-339)				中村 千紘
11回目	多発性硬化症の作業療法目標と治療プログラム(P.339-341)				中村 千紘
12回目	ギランバレー症候群の病態と作業療法評価について(P.342-344)				中村 千紘
13回目	ギランバレー症候群の作業療法目標(P.344-345)				中村 千紘
14回目	ギランバレー症候群のOTプログラム(P.345-346) 確認小テスト②(範囲:腰痛、多発性硬化症)				中村 千紘
15回目	手指腱損傷の概要と評価(P.280-285)				中村 千紘
16回目	手指腱損傷の目標と治療プログラム(P.285-290)				中村 千紘
17回目	手指腱損傷のまとめ				中村 千紘
18回目	腱板断裂の概要と評価(P.291-295)				中村 千紘
19回目	腱板断裂の目標と治療プログラム(P.296-297)				中村 千紘
20回目	腱板断裂のまとめ				中村 千紘
21回目	重症筋無力症の病態と概要(P.347-348)				中村 千紘
22回目	重症筋無力症の評価と作業療法プログラム(P.348-349)				中村 千紘
23回目	疾患のまとめ				中村 千紘
教科書及び参考書	標準作業療法学 身体機能作業療法学【第3版】/医学書院 随時、病気がみえるの指示やプリントの配布をします。				
成績評価	小テスト40%(各2回)、期末試験60% 遅刻1点、欠席は3点減点とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
作業療法士が担当する腱損傷や神経筋疾患についての講義を実施します。今年度は実習も控えています。実習において出会う患者様を想定し、作業療法士の卵としてどのような評価、治療プログラムの立案ができるかを考えて実践的に学んでください。今まで修得した評価方法を疾患に適応して実施していく講義となります。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
身体障害領域での患者様を整形外科や老人保健施設において担当した経験から身体障害領域の疾患についての知識と治療目標・プログラムについての講義を担当する。(中村)					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅱ(精神障害)(実習)	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	学科・年次 曜日・時限	OT学科・3年 火曜 3・4限				
担当教員	桐山 恭輔								
授業概要	精神科の各疾患に対する評価方法と、治療的対応を学ぶ講義です。								
学習目標	① 精神疾患について適切な評価を理解し、実施できる ② 評価に基づいた治療目標の立案ができる ③ 精神科作業療法の治療を理解する								
回数					担当教員				
1回目	オリエンテーション	回復過程について	P74～77	桐山 恭輔					
2回目	作業療法プロセス	評価の基本的な流れ	P156～166	桐山 恭輔					
3回目	評価—面接法(インテーク面接)	P177			桐山 恭輔				
4回目	評価—情報収集	P171～173、177	小テスト①(面接法～情報収集)		桐山 恭輔				
5回目	評価—行動観察	P187～195			桐山 恭輔				
6回目	評価—行動観察(ウォッチングリスト)	P376～379	付表4～6	小テスト②(行動観察)	桐山 恭輔				
7回目	評価—テストバッテリー①				桐山 恭輔				
8回目	評価—テストバッテリー②	P180～186	小テスト③(テストバッテリー)		桐山 恭輔				
9回目	治療目標	P200			桐山 恭輔				
10回目	評価まとめ				桐山 恭輔				
11回目	急性期の作業療法	P220、268	統合失調症スペクトラムの作業療法①	P269	桐山 恭輔				
12回目	統合失調症スペクトラムの作業療法②	P269～278			桐山 恭輔				
13回目	統合失調症スペクトラムの作業療法③	P269～278	小テスト④(統合失調症)		桐山 恭輔				
14回目	気分障害(躁うつ病)の作業療法①	P278～285			桐山 恭輔				
15回目	気分障害(躁うつ病)の作業療法②	P278～285	小テスト⑤(気分障害)		桐山 恭輔				
16回目	神経症圏の作業療法①	P286～290			桐山 恭輔				
17回目	神経症圏の作業療法②	P286～290	小テスト⑥(神経症圏)		桐山 恭輔				
18回目	摂食障害の作業療法	P291～296	物質関連障害の作業療法	P296～300	桐山 恭輔				
19回目	パーソナリティ障害の作業療法	P300～304	小テスト⑦(摂食～パーソナリティ障害)		桐山 恭輔				
20回目	関連療法① 力動論	P334	精神療法	P344	心理教育	P346	認知行動療法	P348	桐山 恭輔
21回目	関連療法② 生活技能訓練	P350	芸術療法	P352	小テスト⑧(関連療法)		桐山 恭輔		
22回目	症例から考える①(事例検討)				桐山 恭輔				
23回目	症例から考える②(事例発表)				桐山 恭輔				
教科書及び参考書	精神障害と作業療法 新版/三輪書店 その他随時、プリント等の配布を行う。								
成績評価	小テスト40%(各5%×8回) 事例発表(30%) 期末試験(30%) 遅刻・欠席は減点								
学生へのメッセージ(受講上の留意点)									
精神科の評価や治療について理解し、臨床実習で実践出来るように講義します。プリントを配布しますので、講義の内容をメモしたり、マーカーを用いてチェックして使用して下さい。また、講義の最後に小テストを行います。講義の復習やまとめは小テストも活用して下さい。次の講義前にもう一度小テストを見直すと、スムーズな学習が出来ると思います。臨床の雰囲気を知るよう、より実践的な講義を考えています。積極的に講義やグループワークに取り組んでください。									
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのように授業を行うか。									
精神科病院において、急性期や回復期、長期入院となる施設維持期の患者様への作業療法を幅広く経験してきた。現在も臨床において勤務しているため、その臨床経験もテキストの内容と共に伝えて講義を進めます。									

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅳ(老年期障害) (実習)	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	OT・3年
				曜日・時限	水・2、3限
担当教員	藤野 頼貴				
授業概要	老年期障害の対象者は健康だが予防的にかかわる必要のある対象者から、最期の時を迎える終末期まで幅広い対象者を支援する必要性がある。その中でも、高齢化により増加した認知症患者への作業療法は、社会からも注目を集めており、作業療法士にとっても一刻を争う課題である。それらに対する評価から治療までを本講義では学ぶ。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・要支援高齢者への予防的作業療法が考案ならびに実施できる</li> <li>・要介護状態並びに認知症への作業療法が考案ならびに実施できる</li> <li>・終末期患者への作業療法が考案並びに実施できる</li> </ul>				
回数					担当教員
1回目	高齢期の作業療法の実践課程 P81～94				藤野 頼貴
2回目	病期に応じた治療・援助内容の違い P95～104				藤野 頼貴
3回目	実施場所に応じた治療・援助内容の違い P105～116				藤野 頼貴
4回目	一般高齢者の作業療法 P117～123				藤野 頼貴
5回目	介護予防の作業療法 P124～129				藤野 頼貴
6回目	認知症高齢者の作業療法① P130～137				藤野 頼貴
7回目	認知症高齢者の作業療法② P138～145				藤野 頼貴
8回目	健康高齢者のケース P150～154		単元テスト①		藤野 頼貴
9回目	ケーススタディ①				藤野 頼貴
10回目	要支援者のケース P155～161				藤野 頼貴
11回目	ケーススタディ②				藤野 頼貴
12回目	要介護者のケース① P162～168				藤野 頼貴
13回目	要介護者のケース② P169～176				藤野 頼貴
14回目	ケーススタディ③				藤野 頼貴
15回目	軽度の認知症高齢者のケース P177～185				藤野 頼貴
16回目	ケーススタディ④				藤野 頼貴
17回目	中等度の認知症高齢者のケース P186～196				藤野 頼貴
18回目	ケーススタディ⑤				藤野 頼貴
19回目	重度の認知症から寝たきりに移行したケース P197～207				藤野 頼貴
20回目	ケーススタディ⑥				藤野 頼貴
21回目	終末期のケース P208～214				藤野 頼貴
22回目	ケーススタディ⑦				藤野 頼貴
23回目	まとめ P217～220				藤野 頼貴
教科書及び参考書	標準作業療法学 高齢期作業療法学 第3版 医学書院				
成績評価	定期テスト(50%) レポート並びにパフォーマンス評価(50%) 欠席・遅刻は減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>本科目は実習の為、授業時間内をより有効に活用して取り組んでください。実技を交えながら高齢の対象者に対する接遇・評価・治療的介入・レポートなどの記録物の作成を行います。それらの実施により必要な知識の獲得が出来ると考えています。</p> <p>予習として次回進む部分の該当ページのSBO(行動目標)を確認し、自分自身の解答を作成しておく、講義される内容がスムーズに頭に入っていくでしょう。講義の終了時にはGoogleclassroomを用いての確認問題や、国家試験の過去問題を実施しますので、期末試験対策や復習に役立ててください。特に認知症に対する評価や介入のポイントは高頻度で出題されますので、しっかりと覚えておいてください。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>認知症治療病棟・重度認知症デイケア・訪問看護からのリハビリテーション・デイサービスにて勤務し、認知症をはじめとする高齢者へのリハビリテーションに従事してきました。また地域などでも認知症カフェ等での講師を行ってきた為、医学的リハビリテーションのみならず、予防領域においても地域包括ケアシステムの一役を担えるように授業を展開します。</p>					

権利擁護と成年後見(3190)		吉安功一		併修科目・必修	
				3年	
				PT水曜3限 OT水曜4限	
授業のねらい	日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することが多い専門職として、鋭い人権感覚を身につけておくことは重要である。相談援助と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む）との関わり、成年後見制度（後見人等の役割を含む）、日常生活自立支援事業について学習する。そして、社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護の実際について理解する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート1	ソーシャルワーカーとして成年後見活動を行う上での留意点について権利擁護の視点から具体的に述べよ。	下書	授業中指示する	
	(ポイント)	社会福祉士、精神保健福祉士が成年後見活動を行う上で、「身上監護」を中核に位置づけていくことが課題となる。権利擁護の具現化としての成年後見制度の位置づけと、ソーシャルワーカーとして後見活動を考察すること。	清書		
	科目終了試験	学修のポイント1 法定後見制度について 学修のポイント4 成年後見制度の最近の動向と課題について 学修のポイント6 権利擁護にかかわる組織・団体について	科目終了試験 実施予定日は授業中に 指示する		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション				
2	レポート対策(相談援助の活動と法)				
3	レポート対策(成年後見制度:成年後見、保佐・補助の概要、申立て)				
4	レポート対策(成年後見制度:成年後見制度の義務と責任、動向について)				
5	レポート対策(成年後見制度:SWと権利擁護、日常生活自立支援事業について)				
6	レポート対策(レポート清書作成)				
7	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
8	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
9	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
10	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
11	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
12	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
13	科目終了試験対策①				
14	科目終了試験対策②				
15	科目終了試験				
期末試験					
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	50点	持ち込み可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの厳守は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

## 2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅱ)(実習)	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	木曜・1・2限(変則)
担当教員	中村 千紘				
授業概要	作業療法士が治療にあたる身体障害領域における疾患の中で神経変性疾患や内部疾患、悪性腫瘍に関する疾患について学びます。各疾患の病態と作業療法評価、治療プログラムについて講義を展開します。				
学習目標	① 各疾患の病態について説明できる。 ② 各疾患に対する作業療法評価を列挙できる。 ③ 各疾患の作業療法目標の設定と作業療法プログラムを説明できる。				
回数					担当教員
1回目	パーキンソン病の概要と病態について(P.352-353)			中村 千紘	
2回目	パーキンソン病の作業療法評価について①(P.353-355)			中村 千紘	
3回目	パーキンソン病の作業療法評価について②(P.353-355)			中村 千紘	
4回目	パーキンソン病の段階毎の作業療法目標とプログラムについて(P.355-358)			中村 千紘	
5回目	脊髄小脳変性症の概要と病態について(P.360-361) <u>小テスト(範囲:パーキンソン病)</u>			中村 千紘	
6回目	脊髄小脳変性症の重症度分類について(P.361)			中村 千紘	
7回目	脊髄小脳変性症の作業療法評価について(P.361-362)			中村 千紘	
8回目	脊髄小脳変性症の作業療法目標について(P.362-363)			中村 千紘	
9回目	脊髄小脳変性症の初期作業療法プログラムについて(P.363-364)			中村 千紘	
10回目	脊髄小脳変性症の中期・後期作業療法プログラムについて(P.364-365)			中村 千紘	
11回目	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の概要と病態について(P.367-368) <u>小テスト(範囲:SD)</u>			中村 千紘	
12回目	ALSの作業療法評価(P.368-369)			中村 千紘	
13回目	ALSの作業療法目標と治療プログラム(P.369-373)			中村 千紘	
14回目	心疾患における病態と作業療法との関係(P.376-380)			中村 千紘	
15回目	心疾患における作業療法評価について(P.380-381)			中村 千紘	
16回目	心疾患に対する作業療法プログラムについて(P.381-389)			中村 千紘	
17回目	呼吸器疾患の病態について(P.391-395)			中村 千紘	
18回目	呼吸器疾患の作業療法評価と治療プログラム(P.395-403)			中村 千紘	
19回目	呼吸器疾患の作業療法プログラム(P.397-403)			中村 千紘	
20回目	糖尿病の病態と作業療法について(P.405-421)			中村 千紘	
21回目	悪性腫瘍の病態と作業療法の関連について(P.424-430) <u>小テスト(範囲:ALS)</u>			中村 千紘	
22回目	悪性腫瘍のターミナルケアについて(P.431-439)			中村 千紘	
23回目	各疾患のまとめ			中村 千紘	
教科書及び参考書	標準作業療法学 身体機能作業療法学【第3版】/医学書院 随時、病気がみえるシリーズの指示やプリントの配布をします。				
成績評価	小テスト60%(全3回各20%)、期末試験40% 遅刻1点、欠席は3点減点とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
作業療法士が担当する神経変性疾患や内部疾患、悪性腫瘍についての講義を実施します。今年度は実習も控えています。実習において出会う患者様を想定し、作業療法士の卵としてどのような評価、治療プログラムの立案ができるかを考えて実践的に学んでください。今まで修得した評価方法を疾患に適切に実施していく講義となります。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
身体障害領域での患者様を整形外科や老人保健施設において担当した経験から身体障害領域の疾患についての知識と治療目標・プログラムについての講義を担当する。また、回復期リハビリテーション病院での経験を活かし、疾患に対する評価と治療の講義を実施する。					



## 2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習事前・事後指導	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	学科・年次	作業療法学科3年
				曜日・時限	木曜・3限(変則)
担当教員	中村 千紘				
授業概要	評価実習に向けて今まで学んできた評価技術を疾患に合わせて実施する方法を実践します。また、評価結果をまとめてレポートに表現できるように指導します。実際の評価実習や総合実習では個人で実施する必要があります。自身で実施できるように積極的に学んでいきましょう。				
学習目標	① 臨床実習の流れについて理解し、自身の実習に向けた準備ができる。 ② 疾患に合わせた評価立案ができる。 ③ 立案した評価を実施できる。 ④ 実施した評価結果をレポートにて表現することができる。				
回数					担当教員
1回目	作業療法教育における臨床実習の概要と臨床参加型臨床実習(CCS)について				中村 千紘
2回目	臨床実習で必要となってくるコミュニケーション技能と基本的態度				中村 千紘
3回目	模擬症例(身体障害領域) 評価項目の列挙				中村 千紘
4回目	評価実技の実施と実施の際の注意点				中村 千紘
5回目	模擬症例一面接技法と情報収集面接について				中村 千紘
6回目	模擬症例-問題点の抽出(ICFIにて)①				中村 千紘
7回目	模擬症例-問題点の抽出(ICFIにて)②				中村 千紘
8回目	模擬症例-統合と解釈①				中村 千紘
9回目	模擬症例-統合と解釈②				中村 千紘
10回目	模擬症例-治療目標の設定方法				中村 千紘
11回目	模擬症例-治療プログラム立案				中村 千紘
12回目	模擬症例-レジュメ作成				中村 千紘
13回目	OSCE(実技試験)				中村 千紘
14回目	OSCE(実技試験)				中村 千紘
15回目	まとめ				中村 千紘
教科書及び参考書	標準作業療法学 身体機能作業療法評価学/医学書院 標準作業療法学 身体機能作業療法学/医学書院 その他プリント等を配布します。				
成績評価	OSCE(実技試験)50%、レポート50% 遅刻1点、欠席3点減点します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>各疾患に対する評価項目を列挙し、評価期間内に評価の実施、統合と解釈、ゴール設定をし、治療プログラムを立案するというOTになったときに必要となる技術・考察を習得する科目です。今回の講義では、身体障害領域において模擬症例を用いてレポート作成を実施します。</p> <p>今まで学んできた疾患や評価に対する知識や技術を生かす機会ですから積極的に取り組んでください。</p> <p>成績評価は、実技試験OSCEの結果も50%割合で含めます。学生同士で協力しあって実技練習を行い、お互いの技術を高めていってください。実技について確認したいことがあるときには教員に確認するようにしてください。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>精神科病院と整形外科、老人保健施設での勤務経験とその際に実習生を担当していた経験から、臨床実習への実践的な教育を行う。また、臨床実習指導者講習会の受講経験も生かした授業を担当する。</p>					

2021年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅲ(発達障害)(実習)	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	OT・3年
担当教員	杉野 潤也				
授業概要	授業では発達障害分野の評価と作業療法を学習します。また発達障害分野の作業療法に必要な基本的な知識も習得できるようにします。基本的知識には子どもの正常発達、発達評価、治療アプローチが含まれます。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだ知識と技術を臨床場面で実践できる</li> <li>・国家試験問題を解くことができる</li> <li>・作業療法学生として対象児と保護者、実習指導者への適切な振る舞いについて説明できる。</li> </ul>				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、Introduction教科書1～6ページ				杉野 潤也
2回目	子どもの発達と作業療法の復習1 教科書7～21ページ				杉野 潤也
3回目	子どもの発達と作業療法の復習2 教科書21～28ページ				杉野 潤也
4回目	子どもの発達と作業療法の復習3 確認テスト				杉野 潤也
5回目	発達障害領域の作業療法評価1 教科書29～36ページ				杉野 潤也
6回目	発達障害領域の作業療法評価2 確認テスト				杉野 潤也
7回目	発達障害領域の作業療法評価3 教科書41～46ページ				杉野 潤也
8回目	発達障害領域の作業療法評価4 確認テスト				杉野 潤也
9回目	発達障害領域の治療的アプローチ1:感覚統合機能 教科書47～96ページ				杉野 潤也
10回目	発達障害領域の治療的アプローチ2:感覚統合機能 確認テスト				杉野 潤也
11回目	発達障害領域の治療的アプローチ3:姿勢と運動 復習1 教科書97～142ページ				杉野 潤也
12回目	発達障害領域の治療的アプローチ4:姿勢と運動 復習2 確認テスト				杉野 潤也
13回目	発達障害領域の治療的アプローチ6:知的障害 復習1 教科書143～166				杉野 潤也
14回目	発達障害領域の治療的アプローチ7:知的障害 復習2 確認テスト				杉野 潤也
15回目	発達障害領域の治療的アプローチ9:摂食嚥下障害1 教科書167～180				杉野 潤也
16回目	発達障害領域の治療的アプローチ10:摂食嚥下障害2 確認テスト				杉野 潤也
17回目	発達障害領域の治療的アプローチ11:デュシェンヌ型筋ジストロフィー 復習1 教科書181～216				杉野 潤也
18回目	発達障害領域の治療的アプローチ12:デュシェンヌ型筋ジストロフィーの復習2 確認テスト				杉野 潤也
19回目	発達障害領域の治療的アプローチ13:二分脊椎の復習1 教科書217～230				杉野 潤也
20回目	発達障害領域の治療的アプローチ14:二分脊椎の復習2 確認テスト				杉野 潤也
21回目	発達障害領域の治療的アプローチ15:分娩麻痺の復習1 教科書231～243				杉野 潤也
22回目	発達障害領域の治療的アプローチ16:分娩麻痺の復習2 確認テスト				杉野 潤也
23回目	振り返り、対人援助職としての作業療法士に求められるもの 教科書244～278				杉野 潤也
教科書及び参考書	長崎重信監修:発達障害作業療法学。メジカルビュー,2021.				
成績評価	期末テスト(50%)、確認テスト(全10回。各5%)、欠席は減点3、遅刻は減点1				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
授業では、单元ごとに確認テストを実施します。その日に覚えたことは、その日にテストしますので、授業に集中して臨んでください。期末テストの内容も確認テストの中から出題します。確認テストで満点が取れるようにしましょう。知識を蓄えていくことは大切です。実習で指導者から説明を求められたときにも役立ちます。根拠のある作業療法が行えるように、授業を通して思考力を鍛えましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
精神発達遅滞等の利用者様への作業療法場面での実務経験を活かし、発達障害分野における作業療法の基本を伝えていく。					